

# 2024年度事業報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

特定非営利活動法人自立生活サポートセンター・もやい

## 1 事業の成果

2024年度の当法人の事業は、コロナ禍以降の変化として、特定資産も活用しながら、入居支援事業での不動産賃貸借の仲介の再開、生活相談支援事業の拡大、交流事業の展開など、当初の計画や予算を柔軟に見直しながら、幅広い生活困窮者のニーズに応え、事業をおこなった。また、メディア等を通じた生活困窮者の状況や必要な支援についての発信や、政策提言を積極的におこなうことができた。

## 2 事業の実施に関する事項

### 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
入居支援事業	ホームレス状況にある人々など、賃貸住居入居時に必要な連帯保証人を独力で見つけることが困難な人々への連帯保証人引受および相談。緊急連絡先の提供および相談。	通年 (毎週金曜日11:30~18:00)。	法人事務所	6名(有給スタッフ3名および主だったボランティアとして年間を通して従事した人数)。	ホームレス状況にある人々等のうち連帯保証人や緊急連絡先を独力で見つけるのが困難な人々。年間約350世帯(保証人新規約10世帯、継続約160世帯)。緊急連絡先150世帯。	25,941
	訪問やアンケートハガキによる安否確認。	訪問は年間を通して随時行った。アンケートハガキは年4回(6・9・12・3月)。	法人事務所及び首都圏各地		確認が必要とされた人。年間延べ約4000人。	
	連帯保証人引受にともなうトラブル発生時の家主等との対応を含むアパート入居後のアフターフォロー。	随時	法人事務所及び首都圏各地		連帯保証人引受に関して、対応が必要とされた人。年間のべ約40名。	
	ホームレス状況にある人など、住宅確保が困難な人々を支援することを目的とした不動産賃貸借の相談および仲介。	通年	法人事務所及び首都圏各地	7名(有給スタッフ5名および主だったボランティアとして年間を通して従事した人数)。	ホームレス状況にある人々等のうち、入居可能なアパート物件を独力で見つけるのが困難な人。年間10名。	
	ホームレス状況にある人々等に対して緊急的な宿泊先の支援としてのアパート型シェルターを設置し、一時的な生活拠点の支援をおこなうとともに、アパート移行をサポート。	通年	法人事務所及び東京都内各地	5名(有給スタッフ3名および主だったボランティアとして年間を通して従事した人数)。	ホームレス状況にある人々等のうち、一時的な生活拠点の支援およびアパート移行の支援をした人。年間約10名。	
生活相談・支援事業	生活困窮者への各種相談。生活保護申請等の同行支援。	電話相談は週2回、面談相談は毎週火曜日、土曜日。その他、チャット相談など、必要に応じて相談支援や同行支援を随時実施。	法人事務所及び首都圏各地	約30名(有給スタッフ4名及び主だったボランティアとして年間を通して従事した人数)。	電話相談の件数は年間約3,000件。生活相談の件数は年間1,300件、そのうち生活保護申請の付き添いは年間120世帯。	26,581
	生活困窮時の食料提供、福祉事務所までの交通費などの生活支援金の支給。	相談者の状況により随時実施。毎週土曜日に新宿都庁下にて食料品配布&相談会を実施。	法人事務所及び新宿都庁下など		生活支援金等の支給は年間延べ約160名。新宿都庁下での相談会では各回650~850食分以上の食料品を提供。	
交流事業	当事者同士がお互いに社会的孤立を解消するために、「もやい結びの会」を運営。	年数回、季節にあわせた行楽やイベント等を実施。	法人事務所及び東京都内各地	約20名(有給スタッフ3名及び主だったボランティアとして年間を通して従事した人数)。	各回10~20名。	14,885
	社会的孤立を解消するための企画として、「サロン・ド・カフェ こもれび」を開催。子育て世帯等を対象とした「もやい交流型パントリー」の実施。	「サロン・ド・カフェ こもれび」隔週土曜日11:00~17:00で実施 「もやい交流型パントリー」隔月実施	法人事務所		参加者各回20名程度。	
	共同作業を通じて社会的つながりを回復する企画としてコーヒー焙煎や農作業等への体験参加を実施。	コーヒー焙煎は毎週水曜日、農作業等の体験参加等は毎週木曜日等に実施。	法人事務所及び首都圏近郊		年間延べ約800人が参加。	
広報・啓発事業	ウェブサイトを運営しオンラインでの情報発信および紙媒体のニュースレター「もやい通信」や活動の一環としての「事業報告書」を発行。	ウェブサイトを更新し年間を通して公開した。もやい通信は年4回(6・9・12・3月)を発行。	法人事務所	5名(有給スタッフ2名及び主だったボランティアとして年間を通して従事した人数)。	貧困や社会問題に興味がある方など不特定多数。ニュースレター約20,000部配布。	7,759
	貧困問題について、現場の知見をもとに政策提言をおこなう。また、学校法人や各種メディア等からの取材対応、生活保護の現状や貧困問題などを伝える「もやいセミナー」の開催など。	政策提言活動、取材対応などは随時。もやいセミナーは月2回を開催。イベント等を年数回実施。	法人事務所及び首都圏近郊		不特定多数。もやいセミナーはオンラインで実施し参加者約300名。イベント等の参加約80人。取材対応など多数。	

\* 当団体は、特定非営利活動のみを実施しております。

\* 支出額の千円未満は、切り捨てております。